様式第１号（第３条関係）

指定給水装置工事事業者指定更新時確認書

（表面）

年　　月　　日

は

住所

電話番号

**１　提出先の水道事業（水道事業者等の連携による広域開催も含む）が実施している指定給水装置工事事業者講習会の受講実績（過去５年以内）**

|  |
| --- |
| 受　講　年　月 |
| □　受講　（　　　　年　　　　月受講）　・　（　　　　　年　　　　　月受講） |
| □　不受講（理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

**２　指定給水装置工事事業者の業務内容（公表：　可　　不可）**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業所の名称 |  |
| 事業所の所在地 |  |
| 電　話　番　号 |  | 指　定　番　号 |  |
| 営業日（対応可能日） |  | 営業時間（対応可能時間） |  |

|  |
| --- |
| 業務内容（該当する者に○を記入してください。） |
| 新築・改造 | 修繕 | 屋外給水管の修繕（掘削等を伴うもの） | 給水設備（受水槽・ポンプ・及びその他附属設備）の修繕 |
| 給水装置工事 | 水漏れや故障の修繕・取替（屋内） |
| トイレ（ボールタップ等） | 蛇口（混合水栓等） | 屋内配管 |
|  |  |  |  |  |  |

公表には、ホームページ等への掲載も含みます。

業務内容に変更が生じた場合には、速やかにその旨届け出てください。

（裏面）

**３　給水装置工事主任技術者等の研修受講実績（過去５年以内で直近のもの）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 受講者名 | 研修会名・実施団体 | 受講年月日 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

（水道法施行規則第３６条第１項第２号参照）

・外部研修については、受講を証明する書類（受講証等）の写しを添付してください。

・自社内研修については、研修内容を記載してください。

・行数が足りない場合は、必要に応じて「別紙」に記入してください。

**４．過去１年以内の給水装置工事に主に従事した適切に作業を行うことができる技能を有する者の状況**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 技能（経験）を有する者の氏名 | 配水管への分水栓の取付・せん孔、給水管の接続、いずれの経験も有しているか【○・×記入】 | 工事年度 | 資格有無【○・×記入】 |
|  | 資格等の種類※１ |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

※１以下に示す保有資格等（下線部）を頭番号で記載してください。

Ⅰ．水道事業者等によって行われた試験や講習により、資格を与えられた①配管工

（配管技能者、その他類似の名称のものを含む）

Ⅱ．職業能力開発促進法（昭和44年法律第64号）第44条に規定する②配管技能士

Ⅲ．職業能力開発促進法第24条に規定する都道府県の認定を受けた職業訓練校の③配管科の課程修了者

Ⅳ．公益財団法人給水工事技術振興財団が実施する配管技能の習得に係る講習の課程修了者（配管技能者講習会修了者、配管技能検定会合格者、配管技能者認定）資格を証明する書類（資格証等）の写しを添付してください。

※過去1年以内の工事実績がない場合は、直近の状況を記載してください。

※配水管からの工事を施工しない場合は、下記のチェック欄にチェックしてください。

※行数が足りない場合は、必要に応じて「別紙」に記入し添付してください。

□　「配水管からの分岐から水道メーターまで」の工事を施工しないため不要

（水道法施行規則第３６条第１項第２号参照）

※水道法施行規則

第３６条　法第２５条の８に規定する厚生労働省で定める給水装置工事の事業の運営に関する基準は、次の各号に掲げるものとする。（以下抜粋）

⑵　配水管から分岐して給水管を設ける工事及び給水装置の配水管への取付口から水道メーターまでの工事を施行する場合において、当該配水管及び他の地下埋設物に変形、破損その他の異常を生じさせることがないよう適切に作業を行うことができる技能を有する者を従事させ、又はその者に当該工事に従事する他の者を実施に監督させること。

⑷　給水装置工事主任技術者及びその他の給水装置工事に従事する者の給水装置工事の施工技術の向上のために、研修の機会を確保するよう努めること。